

会 議 録

会議の名称	令和7年度 第1回小牧市市民活動促進委員会				
開催日時	令和7年5月15日（木）午後1時30分から午後3時30分まで				
開催場所	小牧市役所本庁舎 402会議室				
出席者	【委員】 竹中委員長、三島副委員長、戸成委員、関委員、藤岡委員、大句委員、鈴木委員、森田委員 【事務局】 倉知課長、山中係長、松永、坂東				
傍聴の可否	☒ 可 ☐ 否	傍聴定員	5名	傍聴人数	0名
会議次第	【内容】 1 開会 2 委嘱状交付 3 議題 （1）市民活動促進委員会の位置づけと役割 （2）正副委員長選任 （3）令和7年度市民活動推進事業計画について （4）市民活動助成金・地域に還元チャレンジ助成金について （5）令和6年度市民活動助成金実績報告会について （6）令和7年度市民活動助成金・地域に還元チャレンジ助成金企画提案発表会について （7）令和7年度市民活動助成金・地域に還元チャレンジ助成金審査について 4 その他				
問合せ先	小牧市健康生きがい支え合い推進部支え合い協働推進課市民協働係 電話番号（0568）76－1629（直通） ファックス番号（0568）75－8283				

会 議 内 容

1 開会

2 委嘱状交付

3 議題

(1) 市民活動促進委員会の位置づけと役割

※資料に基づき事務局より説明

(2) 正副委員長選任

委員長に竹中委員が、副委員長に三島委員が選任された。

(3) 令和7年度市民活動推進事業計画について

※資料に基づき事務局より説明

(三島副委員長)

ボランティアチャレンジ事業について詳しく聞きたい。

(事務局)

令和5年度よりワクティブこまきで「ボランティア情報配信 LINE」を運用しており、随時団体からのボランティア情報を配信している。現在、登録者数は700人を超えている。今年は市制70周年記念事業として、「ボランティア情報配信 LINE」を通じて取り組んだボランティア活動に対して記念品を交付する。

(三島副委員長)

参加はいくらでも増えて良いのか。

(事務局)

予算はあるため、令和6年度の実績をみて記念品を用意している。記念品がなくてもボランティアを続けてもらいたい。

(三島副委員長)

あくまでも記念品はボランティア活動を始めるきっかけであり、今後続けられるかが大切である。

(事務局)

補足であるが、既存の団体に入るのはハードルが高いため、単発のボランティア活動が団体に入るきっかけとなることを期待している。

(藤岡委員)

こまき市民交流テラス管理・運營業務について、講座を月1回行っていたり、アウトリーチを行っていたりするが、スタッフは窓口を含め何人いるか。

(事務局)

窓口を含めて6名である。

(竹中委員長)

協働提案事業化制度の募集はどのような状況か。

(事務局)

今年度は1件である。事業内容は変更せず、協働のパートナーである担当課を変更しようかと議論している最中である。

(竹中委員長)

5月にある市民活動助成金、8月にある協働提案事業化制度のヒアリングが委員会の主要な活動である。

(4) 市民活動助成金・地域に還元チャレンジ助成金について

※資料に基づき事務局より説明

(5) 令和6年度市民活動助成金実績報告会について

非公開

(6) 令和7年度市民活動助成金・地域に還元チャレンジ助成金企画提案発表会について

非公開

(7) 令和7年度市民活動助成金・地域に還元チャレンジ助成金審査について

非公開

4 その他

※5月24日(土)の実績発表報告会・企画提案発表会、審査会の日程について事務局より説明

以上